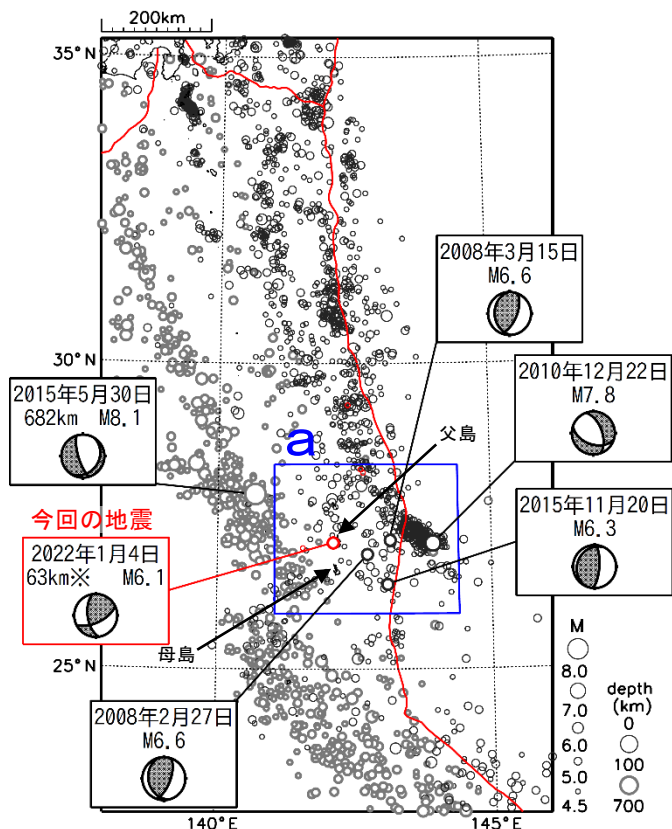


1月4日 父島近海の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2022年1月31日、
深さ0～700km、M \geq 4.5)
2022年1月の地震を赤く表示
100kmより浅い地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

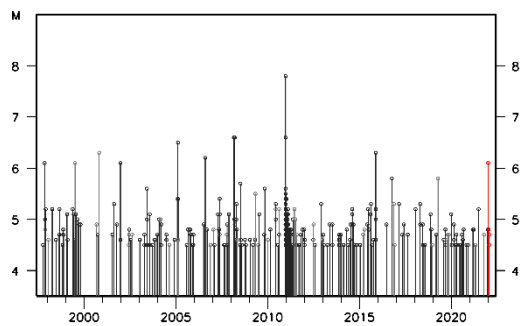


※今回の地震の深さはCMT解による
赤線は海溝軸を示す。

2022年1月4日06時08分に父島近海の深さ63km (CMT解による) でM6.1の地震 (最大震度5強) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震以降、1月中に震度1以上を観測した地震は、領域b内で14回 (震度5強: 1回、震度2: 3回、震度1: 10回) 発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、M6.0以上の地震が時々発生している。2010年12月22日のM7.8の地震 (最大震度4) では、この地震により津波が発生し、八丈島八重根で0.5m等の津波を観測した。

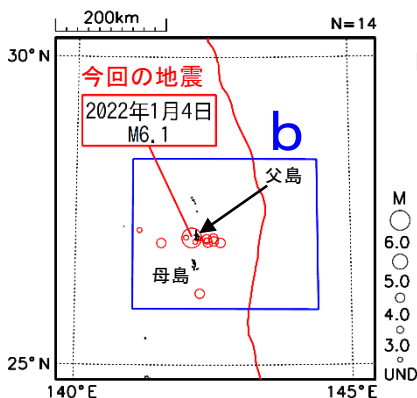
領域a内のM-T図



震度1以上を観測した地震の
震央分布図

(2022年1月、深さ0～700km、Mすべて)

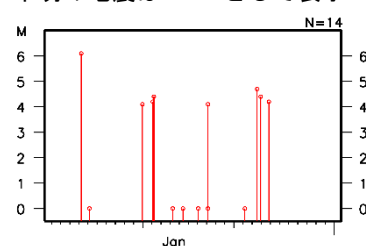
M不明の地震はM=0として表示



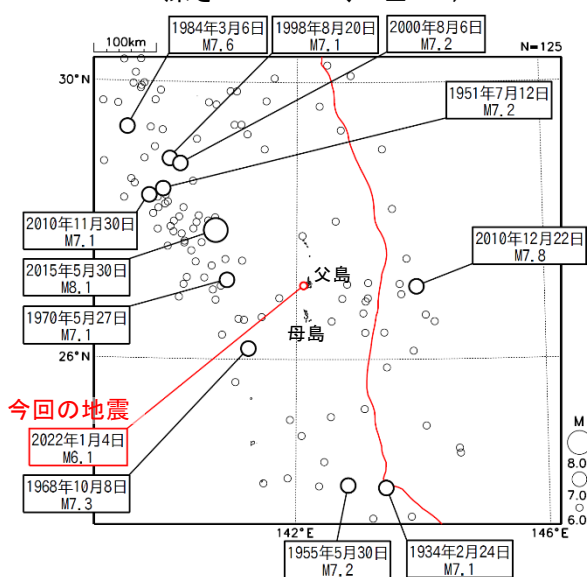
赤線は海溝軸を示す。

領域b内のM-T図

M不明の地震はM=0として表示



震央分布図
(1919年1月1日～2022年1月31日、
深さ0～700km、M \geq 6.0)



赤線は海溝軸を示す。

1919年以降の活動をみると、小笠原諸島周辺では、M7.0以上の地震が時々発生している。2015年5月30日の深さ682kmで発生したM8.1の地震 (最大震度5強) では、この地震により関東地方で軽傷者8人等の被害が生じた (総務省消防庁による)。また、1984年3月6日のM7.6の地震 (最大震度4) では、この地震により関東地方を中心に死者1人、負傷者1人等の被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。